

合唱コンクールにおける「新型コロナウイルス感染症拡大予防」ガイドライン

1 基本方針

- ・ 新型コロナウイルス感染予防対策を徹底し実施する。

2 具体策

(1) 前日までの事前周知及び準備

- ・ 参加者の人数を制限するため、本合唱コンクールの参加者は本校職員及び生徒、保護者(各家庭1名まで)、審査員(2名)とする。(以下これらの者を参加者とする)。保護者については各家庭1名のため、保護者の代理としての家族(例えば祖父母でもよい)。しかし、生徒の兄弟姉妹は除く。
- ・ 参加者は、日頃から健康に留意した生活を送り、毎朝の検温と症状(頭痛、咳、その他の症状)などのチェックを学校から配布された健康観察表等を活用して記録しておく。
- ・ 学校は、保護者に対して当日の感染症対策について事前に周知しておくと共に、保護者が持参した健康観察表を確認することで、実施前及び当日の健康状態の把握に努める。
- ・ 参加者は、参加する前に、自身の体調がよくないと感じるなど、次の各項目に該当する場合は、速やかに参加中止を判断する。

(ア) 発熱、咳、喉の痛みなどの風邪症状や味覚異常、嗅覚異常、強い倦怠感など感染が疑われる症状がある場合

(イ) 同居家族や身近な人に感染が疑われる場合

(ウ) 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合

(エ) 14日以内に感染者との接触や濃厚接触者と特定された場合

- ・ 参加者に感染が判明した場合には、参加者名簿を関係機関に公表する必要があることを周知する。
- ・ 参加者は自らがPCR検査対象者となったり、濃厚接触者となったりした場合は速やかに学校に連絡することを周知する。
- ・ 参加者の出入り口は体育館への渡り廊下のみとし、それ以外の出入り口から体育館及び校舎内への入場はできないように掲示物及び通知で参加者への協力を呼びかける。
- ・ 合唱コンクール会場は生徒用スペースと保護者用スペースが明確に区別できるように座席を配置する。
- ・ 生徒及び保護者それぞれの座席は、十分な広さを確保し、互いの間隔を広くとれるようにすることで、身体的距離の確保に努める。
- ・ 受付にアルコール消毒液及び非接触型体温計を設置する。受付担当者は参加者への手指消毒を呼びかけると共に、健康観察表を忘れた参加者の検温を非接触型体温計で行う。
- ・ 前日の睡眠を十分にとり、朝食をしっかりと食べて合唱コンクールに参加させる。

(2) 当日の朝の確認事項

- ・ 朝、各担任は教室で生徒が提出した健康観察表を確認する。忘れた生徒に対しては非接触型体温計で検温すると共に体調を口頭で確認する。
- ・ 体調不良者については、相談室2において養護教諭が中心となって、再度腋下体温計で検温を行い、37.0度以上の発熱が認められ、かつ平熱よりも1度以上高い場合は速やかに保護者に連絡をし、帰宅させる。
- ・ 各担任は生徒へのマスクの持参と鑑賞中の着用について再度指導する。

- ・ 校務員と音楽主任、教務主任は朝の時点で体育館の窓及び扉は開放し、十分に換気をしておく。

(3)受付について

- ・ 受付係は、別紙ローテーション表に従って受付業務に従事する。
- ・ 受付位置は1年生駐輪所北側に簡易テントを設置する。机を三脚用意し、クラス毎に受付を行う。
- ・ 参加者には、間隔を空けて並んでもらい、一人ずつ事前に配布した健康観察表を受け取り、記述を確認して、生徒名簿にチェックし家庭で1名であるかを確認する。健康観察表については参加者から預かりクラス毎に保管する。
- ・ 参加者が健康観察表を忘れた場合は、非接触型体温計で検温を行い、体調等を聞き取り、体温を生徒名簿に記録しておく。
- ・ 健康観察表の記述や検温の結果及び名簿での確認で問題が無い場合は、アルコールで手指消毒をしてもらい、柔道場前渡り廊下に用意した靴置き場(ブルーシート)に靴を置き、入場してもらおう。異常が認められた場合は、来場を控えていただく。可能な限り教頭が付き添い対応する。
- ・ 参加者が2名以上の場合、入場可能人数は各家庭1名であることを伝え、来場を控えていただく。可能な限り教頭が付き添い対応する。
- ・ 演奏中は受付係のうち1名は体育館後方で待機し、途中入場者に対して発表中の移動を控えてもらうとともに、発表の合間に移動してもらう(トイレから戻ってきた際も同じ)。1名は武道場入口付近で途中入場する参加者に器具庫側から入場してもらうように伝える。1名は受付にて引き続き受付業務を行う。

(4)演奏(発表)中について

- ・ 本校職員や保護者は、原則としてマスクを常時着用する。
- ・ 生徒は原則として発表中以外の鑑賞時・移動時はマスクを着用する。
- ・ マスクはステージに上がり、クラス紹介者が発表している間に外す。指揮者と伴奏者はマスクもしくはフェイスガードを着用したままにする。ただし、指揮者と演奏者の間隔が十分に確保できる場合は、その限りではない。
- ・ 体育館への移動前後やトイレ使用前後等、こまめに手洗いやうがいを行うと共に、必要に応じて手指消毒を行わせる。
- ・ 参加者は互いの身体的距離を広く確保することを心掛ける。生徒及び保護者の座席については並べる際に感覚を1m程度空ける。
- ・ 会場内は原則として飲食禁止とする。
- ・ 発表に係わる座席の移動は、前の発表クラスが着席してから次の発表クラスが移動を始める。曲紹介については発表クラスが整列を終えた後に行う。
- ・ ステージ上に並ぶ際には左右の間隔は50cm程度とり、前後は1m程度とる。指揮者は体育館フロアに指揮用の台を用意し、演奏者との距離を確保する。
- ・ ステージ上にはひな壇を2段並べ、生徒が間隔をとりながら1枚に3人並べるようにする。
- ・ 体調不良者については、養護教諭を中心として全職員で対応し、非接触型体温計で必ず検温を行い、少しでも発熱症状が認められる場合は、相談室2で対応する。
- ・ 発熱症状が見られる生徒については、保護者と相談し早退を促す。
- ・ 演奏中に保護者が会場に出入りする場合は、器具庫を通過して会場後方より会場内に入るようにする。事前に通知等で周知し協力を呼びかけるとともに案内係を配置する。
- ・ 各学年の開会前には、司会が感染症対策や演奏中の注意事項(お願い)について、呼びかけることで注意喚起を行う。
- ・ 伴奏者とクラス紹介者は、自クラスの発表の入場前と退場後にアルコール消毒を行う。ア

ルコール消毒液は各担任が用意し、噴霧する。

- ・ 学年発表終了後、まず生徒が教室に戻る。生徒が退場後保護者に退場していただく。会場が空になったことを確認して、次学年の保護者に入場してもらう。入場と退場の声かけとコントロールは各学年主任が行う。

(5) 駐車場について

- ・ 駐車場については、晴れの場合は校庭を解放するが、雨天の場合は解放しない。その旨を事前に保護者に伝えておくとともに、朝 7 時 30 分までにその日の天候から利用の可否を判断し、教頭が連絡メールを発信する。駐輪場については校舎北側のレンガの辺りを利用してもらう(前日校務員が駐輪場の案内掲示をしておく)。
- ・ 学年毎に保護者の入れ替えを行うため、車の入れ替えも生じる。そのため、駐車場係を常時配置する。駐車場係は別紙ローテーション表に基づいて駐車場整理業務に従事する。
- ・ 駐車場については入場を北側正門、退場を南側校門と出入りを限定し、一方通行とする。
- ・ 駐車位置は校庭北側プールよりから順番に駐車する。前日に校務員がラインを引いておく。
- ・ 審査員用駐車場として正門入って左側の職員駐車を朝校務員が 2 台確保しておく。
- ・ 駐車場係は進行方向の誘導や駐車位置の指示は行うが、駐車の誘導は行わない。特に後退時は絶対に行わない。
- ・ 受付場所が分かる案内表示を駐車場係が掲示し、コンクール終了後は確実に撤去する。

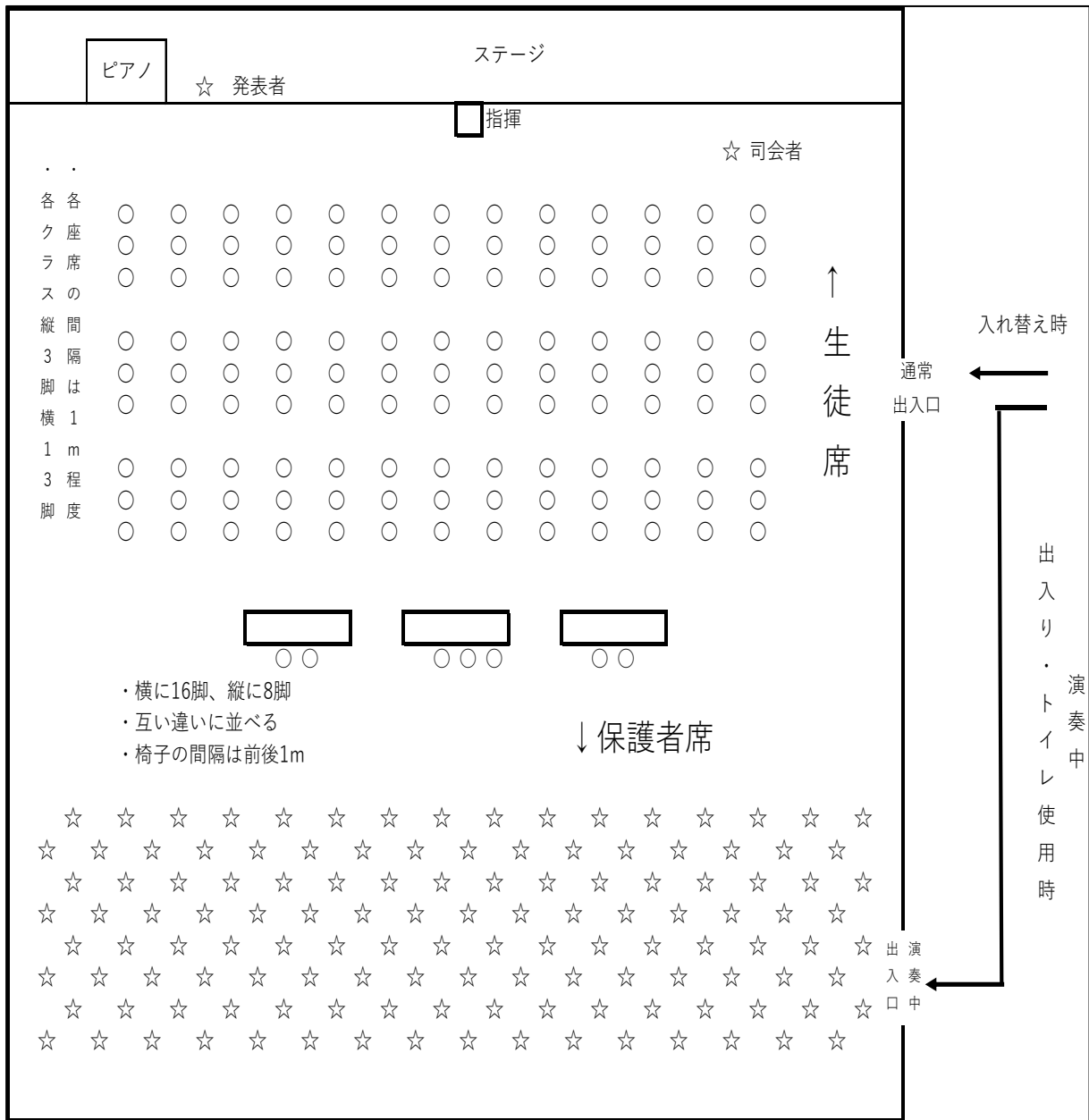
(6) その他

- ・ 万が一、感染者が発生したとしても、その者を誹謗中傷したり、非難したりすることがないように指導を徹底する。
- ・ 回収した健康観察表については、1 ヶ月間学校で保管し、期間が経過した後は教頭がシュレッダーで確実に処分する。
- ・ トイレなど複数の参加者が触れると考えられる場所については、教務主任と音楽主任が学年入れ替え毎に消毒を行うこととする。また、トイレ及び手洗い場には液体石けん及びアルコールを設置する。
- ・ トイレはふたをして流すように、養護教諭が掲示物等を設置して協力を促す。
- ・ 楽譜やプリント類の共有は避ける。
- ・ 写真撮影については、「保護者席」のみとする。進行や周囲の参加者の迷惑とならないように、移動しての撮影やフラッシュ撮影は遠慮してもらうように周知しておく。また、撮影した写真などについては、SNSへの投稿などはしないよう放送で呼びかけたり、事前案内で触れたり保護者に周知しておく。

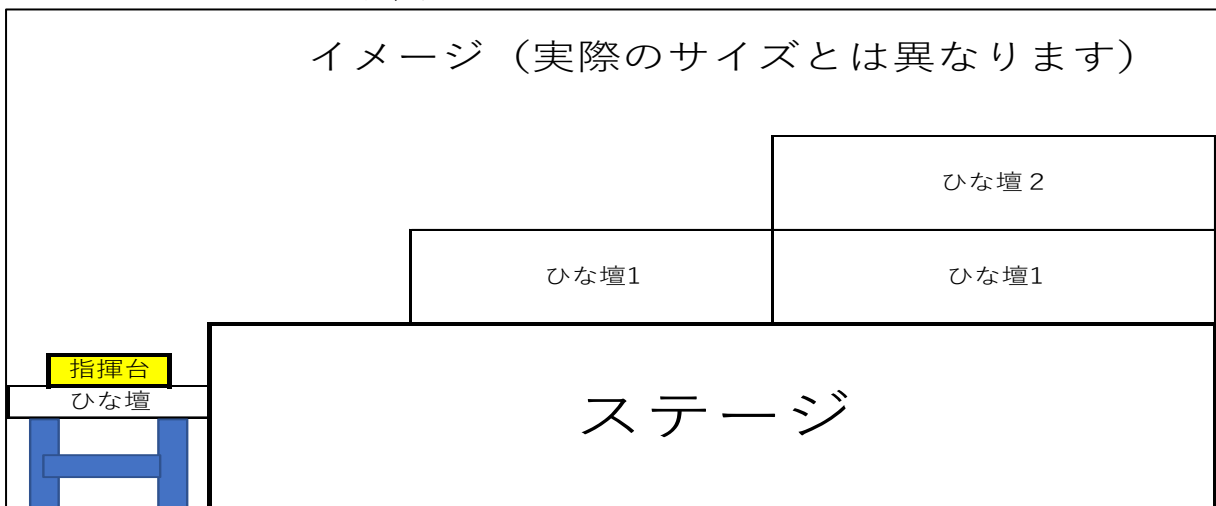
3 全体図



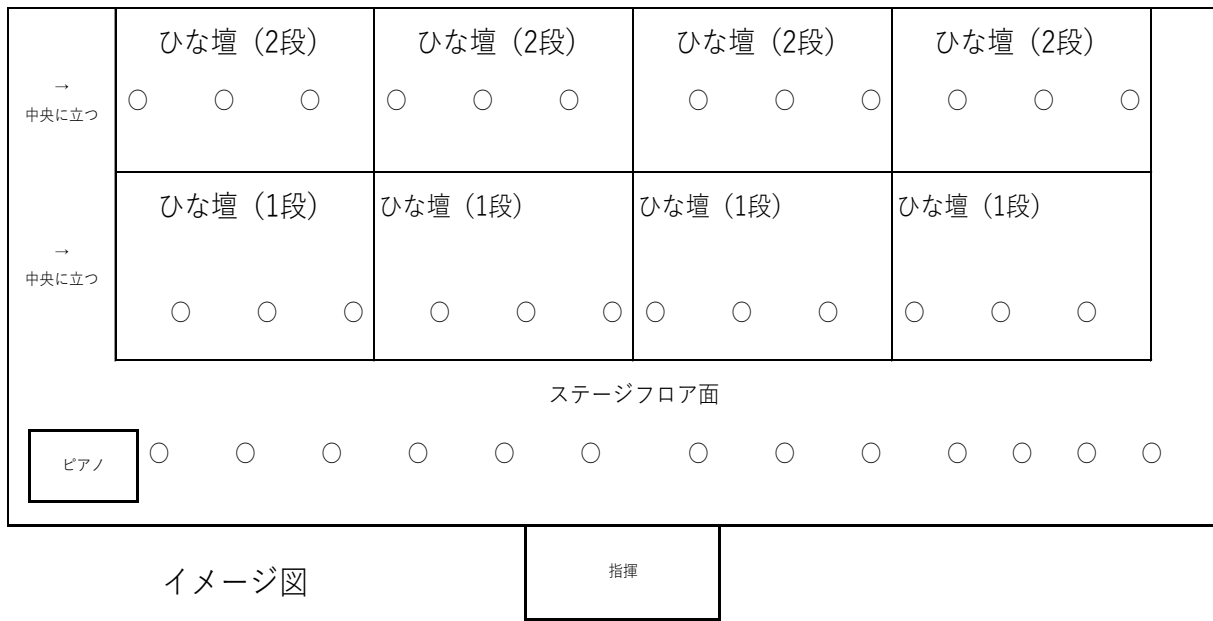
4 会場図



5 ステージ上ひな壇配置図



6 ステージ上生徒配置図



☆ 生徒は互い違いに並ぶようにする。